

2018年（平成30年）9月12日

輸送動向について（平成30年8月分）

1. 輸送概況

今月は、平成30年7月豪雨及び台風20号接近・上陸の影響等により、高速貨1,402本、専貨19本が運休となった（前年は、高速貨133本、専貨8本が運休）。平成30年7月豪雨の影響で不通となっている山陽線について、トラック・船舶による代行輸送を実施している。

コンテナは、紙・パルプが山陽線不通の影響により中国・九州地区からの発送が大きく落ち込み大幅な減送となったほか、自動車部品、積合せ貨物、化学工業品・化学薬品、家電・情報機器をはじめすべての品目において、前年を大きく下回る実績となった。その結果、コンテナ全体では前年比72.8%となった。

車扱では、石油が比較的好調であったが、これは前年に比べ気温が高く推移したことに伴い、ガソリン・軽油の消費量が増加したためである。またセメント・石灰石も、需要が増加したことにより大幅な増送となった。その結果、車扱全体では前年比107.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比82.7%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,263	1,735	72.8%	7,918	9,017	87.8%
車 扱	738	685	107.7%	3,306	3,268	101.2%
合 計	2,001	2,420	82.7%	11,224	12,286	91.4%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	113	156	-43	72.5%
	化学工業品	111	161	-50	68.9%
	化学薬品	76	113	-37	67.5%
	食料工業品	242	297	-55	81.5%
	紙・パルプ	175	245	-70	71.1%
	他工業品	88	118	-30	74.8%
	積合せ貨物	161	224	-63	71.8%
	自動車部品	32	61	-29	53.7%
	家電・情報機器	23	32	-9	70.3%
	エコ関連物資	30	42	-12	72.5%
	その他	212	286	-74	74.0%
	コンテナ計	1,263	1,735	-472	72.8%
車 扱	石 油	487	466	21	104.5%
	セメント・石灰石	134	103	31	129.4%
	車 両	71	68	3	104.6%
	そ の 他	46	48	-2	95.8%
	車 扱 計	738	685	53	107.7%
合 計		2,001	2,420	-419	82.7%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）